

# 視察報告書

令和5年10月24日（火）から25日（水）まで、自主研究グループとして行政視察に神奈川県藤沢市に出張（視察）しましたので、下記のとおり報告いたします。

## 記

令和5年11月8日

美祢市議会

議長 竹岡昌治 様

自主研究グループ

代表 杉山 武志  
山中 佳子  
秋枝 秀稔  
猶野 智和  
田原 義寛  
山下 安憲

### 1 出張（視察）の目的

次にあげる課題解決に係る問題点探究に資するため。

#### 教育

##### 課題

少子化による小学校の複式化に於ける学力の低下を危惧する市民も少なからずおられ、教育の在り方・美祢市独自の教育が求められている。

また、日本教育の「教え学び身に着ける」形から「自分が取得したい物を取得していく」形に変わろうとしている。

##### 問題点

課題を解決するにあたり、現行教育カリキュラムの中に美祢市独自の教育を組み入れられれば良いが、現時点においては困難と思われる。

本市に於いては、先進的な教育理念を持つ慶応義塾大学藤沢キャンパスの長谷部教授との連携による公設塾「mineto」を開設しており、この場にカリキュラムを導入出来ないか検討する必要がある。

また、新たな手法として長谷部研究室は全国に数カ所分室的な施設を設け国際的な教育を進められており、美祢市への設置を検討されていることから現状把握と展開の可否を調査すべきと考える。

## 災害対策

### 課題

本市は平成21年に豪雨災害が発生し、厚保地区に於いて家屋の水没等甚大な被災を経験しており、本年6月末の豪雨による被災は1名の行方不明者を始め市道・橋梁・市管理河川護岸121件総額24億200万円に上っている。

また、河川氾濫によりJR美祢線も崩壊し、被害総額は60億円とされている。

これにより河川の改善・水流を抑止する政策が求められている。

### 問題点

平成22年本市下流の厚狭地区において満潮と重なり河川が氾濫した。

厚狭川全域の護岸拡幅若しくは川底を深くすべきと考えるが、山口県の管理でありまた岩盤・民家の隣接等困難を極める。

この様な事象発生に備え「遊水地」を設ける市町が有り、手法としては低い位置に公園やスポーツグラウンドを設け災害時に活用するもの又は隣接する水田を補償し活用するものと有るが、提言するにあたり調査検証をする必要が有る。

また、視察内容の詳細及び各々の所感は別添とする。

## 視察内容

別紙

視察先及び対応者	視察目的	視察内容
慶応義塾大学 藤沢キャンパス  環境情報学部 長谷部葉子准教授	1 学生の研究活動視察依頼 2 長谷部研究会秋芳分室構想の可否及び美祢市賑わい創生・定住促進の可能性検証	民家定住による農業・加工生産業への従事及び地域を巻き込んだイベント等開催状況並びに学生間の情報共有施策の現状確認
神奈川県立 境川遊水地公園  副園長 伊藤 航	豪雨災害に係る水害対策 1 施設概要 2 運用方法	1 遊水地公園設置に係る経緯 2 施設各機能の検証 水害対策機能 ビオトープ研究機能 運動施設活用機能 3 施設管理運用方法

## 所感

### 1 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス 長谷部研究室

大学という学部教育の4年間では2年間で概ね一般教養でありその後の2年間は専門知識の習得というカリキュラムが一般的であり、何十年も同じ教科書での授業をノンベンダラリと教授が行い、それを授業出席者がノートを取り試験に備えるという、いわば暗記に重点を置いた教育であり、授業に出てない学生は代返を頼みノートを写させてもらってテストに臨み、規定の点を取れば大学卒業となるという概念が大学授業と考えて、下知識なしに視察に臨んだところ、驚くべき先端教育だった。

一般の大学の教育レベルは共通基礎科目として勉強をさせ、平行して大学院レベルの研究教育をしていた。偏差値の高い学生の集まりだからできる教育なのだろうが、このような教育を目指して多くの大学で同様な学部が開設されていると聞いたが、このSFCが先端を走るのだろうかと思う。正にこれからの大学教育であろうと考えた。各分野で真に活躍できる人材を生み出していると聞く。

秋芳町にサテライト教室を計画しているとのことで、美祢市プラス慶応義塾大学SFCの融合でどのようなものが生み出せるか、産まれるか、視点を変えた地域振興が期待できるのではないかと大いに期待したい。

### 2 神奈川県立 境川遊水地公園

境川は厚狭川と同様に県管理の河川で、相模原市、東京都町田市、大和市、横浜市、藤沢市を流下して相模湾に注ぐ、延長約52kmの河川で、ほぼ下流域に遊水地公園がある。

この公園は宅地開発等（美祢市は山林・農地）による保水機能の低下から洪水防止のために建設されている。厚狭川の比ではない甚大な被害防止の観点から県により建設されたものであろうが、厚狭川も住民被害は目を覆うものがあり、早急な河川改修が待たれるが、果たして美祢の大量の水を山陽小野田に早く流すことができるのだろうか、もし流した時に満潮と重なった場合は、美祢の比ではない下流域の洪水被害がでると考えている。視察したような30畝の小規模な遊水地ではなく大規模な遊水池を美祢市に早急に作る以外に効果的な対策はないのではないか、と改めて思った。